

希望です

静岡市

堀口弘子

高市政権の憲法無視の悪法を、自民、維新などで推し進めている国会では、民主主義もなにもありません。

そんななかで、杉並区長選挙で岸本区長が再選され、本当によかったです。希望です。

地方の首長選挙でも、

自民党の推す人が落選しています。地方から、国民無視の政治にNOをつきつけたい。



鳥取・境港市 足立美枝子(81)

未知の人と出会える

福岡・久留米市 小西なほみ(76)

コロナ禍前はよく海外に行っていたが、この頃は国内の旅に出かけている。

最近友人を誘って滝を見に行くようにしていたが、直前に友人がキャンセル。久しぶりの一人旅だった。

一人参加は結構多くて隣の席の人と話が弾ん

富士を撃つな

兵庫・西宮市

阿部淑子(91)

ラジオ深夜便で大変な

ニュースを聴きました。夜明け前でした。「東富士演習場で、実弾の射撃訓練をした。使った実弾は10万発、費用は8億2千万円。毎年やっている。今回で68回目」とのこと。富士山をめがけて撃っているのでしょうか。

読者がつくるページ

世界遺産の富士山。信仰の山として日本人が大切にしてきた山に、そんなことが平気でできるのかと、腹が立って眠れませんでした。

新婦人静岡の方がたの「富士を撃つな、富士か

1人で行ってみました

は長年一人で自営業をされていた。一人参加は未知の人と出会える貴重な

年休を消化して

札幌市 桑田伸子(65)

愛媛県へ一人旅をしました。来年3月で定年退職。年休がたまっている

ので、消化しながら今まで行きたかった所へ行き、やりたかったことをしたい、と。

院へ4日間の見学実習。

ら撃つな」まったくその通りです。

8億2千万円あれば、福祉に教育に、医療に使ってほしいと思います。

沖縄慰霊の日

沖縄・那覇市

神山幸子(82)

81年目の沖縄慰霊の日、暑い中、糸満市の平和の礎の前には、沖縄戦で家族を亡くした人々が、礎に刻まれた名前を手でなぞりながら話しかけている。平和の礎には、

今年6月23日現在24万

川柳

・川柳の材料そろう高市さん

大阪市 甲田靖子(83)

・花鉢が野菜鉢に変わる物価高

北海道函館市 小辻邦子(78)

2659人が刻銘されている。母親に抱かれて日

いる。沖縄県民は14万9703人、4人に1人が

亡くなった。

礎への刻銘にあたり、当初は、「戦傷病者戦没者遺族等援護法」で申請した人たちが刻銘しようとした。当時の刻銘検討委員会座長だった石原

昌家氏(現沖縄国際大学名誉教授)は強く反対し

た。「援護法」は本来、「軍人・軍属」を対象とした国家保障を一般住民にも適用させて、民間人の戦争協力として歴史を捏造し戦争体験をねじ曲げて

き込むな！

実家の整理で

京都・宇治市

布川博子

母が亡くなって実家の整理に行ったとき、タンスの引き出しに古ぼけた大学ノートを見つけた。ジ目は父が毛筆で、長女誕生の喜びを。あとは母

誕生から三歳までの私のことを断片的に書いた

育見日記でした。1ページ目は父が毛筆で、長女誕生の喜びを。あとは母

原稿募集

☆テーマ：今、聴きたい音楽／家事一手抜きススム／1人で行ってみました投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くす

夫眠り私の時間が訪れる深夜に読むは今日の朝刊

京都府 原木とし子

「評」ご夫君が困難を抱えておられる様子。自由時間には新聞を読むとのこと、問題意識の高さが感じられます。ぜひ詠うことで心の解放を。

カリエスを病む父宛てにアカガミが来たとう敗戦四日前の日

岡山県 和泉 伸子

「評」重い病の人まで駆り出そうとするほど日本は追い込まれ混乱していたのでしょう。

推す小兵まさかの優勝五月場所福島なるが尚嬉しくて

和歌山県 矢野 淑枝

「評」力士の名(若隆景)を挙げず「小柄・福島(出身)・優勝」と表現したところが心憎い。

究極の矛盾と理不尽を合わせ持つ天皇制と男系男子

栃木県 猪瀬 清美

「評」日本国憲法の保障する法の下平等・男女平等の理念はどこへやら。

《作品募集》ハガキなどで編集部「あなたも短歌」係まで。作品は未発表のものに限ります。

が、命名から「いつ立つ

た」「いつあーちゃんと

言った」とメモをしてあとで書いたのか、きれいな字で綴られています。

夜泣きするので困った

こと、勤めていたので、守りのことなど。両親の愛情がたっぷり注がれていたことを感じます。

見習って、私も二人の

子どもの育見日記をつけていました。

嫁さんの週一電話と娘との朝のラインに守られ生きる

三重県 伊藤 明美

「評」子息の妻からは七日に一回。娘からは毎朝というのがいいですね。何とも有難いこと。

庭に出て深呼吸する夏の朝やがて福岡大空襲の日

福岡県 安東 光子

「評」八十年前、千人以上が死亡した福岡大空襲。六月十九日が近づくと蘇る恐怖の記憶。

風邪ひけばパイナップルが食べられる今は昔の

淡い思い出

北海道 可香合紀子

「評」病気になることで食べられた貴重な食品。選者の私の場合は桃の缶詰でした。

バザーにて着ぐるみまとい呼び込むわれその日

限りの晴れ姿かな

東京都 能城 昇二

「評」着ぐるみおじさん大活躍。お疲れ様。

小さな祠帳幕

鳥取県 倉見 和枝

読み聞かせファッションショーやフラダンス三班集う新婦人まつり

三重県 諸岡久美子

おてんき てんきII RANKO

